

Vario basic

No. 2960-0000 / 2960-1000

Bedienungsanleitung

Instruction manual • Mode d'emploi • Istruzioni d'uso

Instrucciones para el servicio • Gebruiksaanwijzing

Instrukcja obsługi • Инструкция по эксплуатации

操作手冊 • 取扱説明書 • إرشادات التشغيل



Vario basic

No. 2960.0000 / Nr. 2960.1000

日本語

1. はじめに

Vario basic プラスト装置をお買い上げいただきありがとうございます。

この装置は、多機能、性能、人間工学の新しいスタンダードを打ち出しています。



長期にわたって問題なく使えるように、次の注意事項を守って下さい。

2. 適用分野

Vario basic 循環プラスト装置は、デンタルラボにおいて型取り部分（主にモデル型取り）の充填剤や酸化物を取り除くのに使用します。

オプションで、精密プラストタンクを 2 つまで追加する事もできます。

これにより適用分野は、冠部、ブリッジ、セラミック部分の充填剤や酸化物の除去、および研磨噴射による表面仕上げにまでおよびます。

本装置には、精密プラストタンクは付属していません。精密プラストタンクは、1 つまたは 2 つ取り付けられるようになっていきます。さらに、圧縮空気で作動する装置を 1 つ接続する事ができます。この選択は、噴射チャンバー内の多機能スイッチで行います。



最初から精密プラストタンクを取り付ける場合は、装置に噴射研磨剤を充填する前に行って下さい。

2.1 環境条件

(DIN EN 61010-1 に基づく)

本装置は、以下の環境以外では作動させないでください:

- 室内
- 標高2,000 m まで
- 周囲温度が 5-40°C (41-104°F *)
- 31°C (87.8°F) で最高相対湿度が80%、40°C (104°F) で相対湿度が最高 50% まで比例的に上昇する環境
- 電圧変動が定格値の 10% を超えずに、電源電力供給を行う環境
- 汚染度が 2
- 過電圧カテゴリーが II

*) 5-30°C (41-86°F) では、大気湿度が 80% までの環境で装置を使用できます。装置がいつでも使用できる状態にあるために、温度が 31-40°C (87.8-104°F) では、大気湿度が比例的に上昇する環境であることが条件です (例: 35°C (95°F) = 大気湿度が 65%、40°C (104°F) = 大気湿度が 50%)。温度が 40°C (104°F) を超えた環境では、装置を作動させてはいけません。

3. 危険についての注意事項

3.1 使用されている各種記号

本説明書および装置では、以下の記号を使用しています:



すぐに負傷する恐れがあります。



電圧による危険があります。



注意事項に従わない場合は、装置が損傷する危険があります。



操作に役立ち、取扱いを容易にするための注意事項に適用されます。



安全メガネを着用してください



保護手袋を使用してください



取扱説明書に従ってください

3.2 危険についての注意事項

- Vario basic プラスト装置は、危険性のある電気装置です。本装置は、その国の該当する規定に準拠していることを確認した上で、専門要員のみが接続し、使用することができます。
- 使用開始前に、タイプラベルに記載されているデータと、当該国の電源および圧力空気の接続ワット量を比較してください。
- プラスト装置を作動させる際には、健康を害する恐れがありますので、適切な吸引装置や人体を保護する装備を必ず使用して下さい。吸引装置の種類は、噴射時に発生する粉塵に合わせて変更してください。その際には、EN 60335-2-69 の付録 AA に必ず従うか、または同業者組合や管轄官庁に問い合わせてください。
- 適切に操作を行わないと、目や皮膚を負傷する危険があります。
- 装置を作動させる際には、適切な保護メガネを着用してください！防御を怠ると、周囲に浮遊している粒子によって、目が傷つく原因になります。

- 目の方向や肌の覆われていない部分に向けて、絶対に噴射しないでください！
- 点検ガラスを開けたままで、絶対に噴射しないでください！
- 接続ラインおよびチューブ類（電源ケーブルや圧縮空気ホース）が損傷していないか（折れ曲がっていないか、亀裂や穴がないかなど）定期的に点検してください。
- 接続ラインやチューブ類が損傷していたり、その他故障がある装置は、動かしてはいけません。
- 保守作業を行う前に、圧力空気電源から装置を外してください。
- 電気部品の作業を行う前に、電源から装置を外してください。
- 圧力空気の供給ホースだけが接続されている場合は、フットスイッチを踏まないでください。ホースが緩んでいる状態では、ホースが跳ねまわる可能性があるため、負傷する危険があります。
- 蛍光灯を交換する前に、電源プラグを抜いてください。
- 発光体を交換する際には、強く押ししたり曲げないでください（破損する恐れがあります）。必要に応じて手袋や布を着用し、破片から身を守ってください！

精密ブラストタンクを使用する場合:

- 使用開始前に、タンクキャップの取付け具合を点検してください。タンクキャップがきちんと締まっていないと、爆発するように外れてしまう場合があります。部品が飛び散ったり、研磨砂が急に噴射されるので、負傷する恐れがあります。
- タンクの作業時（充填、清掃、保守）には、保護メガネを着用してください。
- 噴射研磨剤がガスケットに残っていると、漏れの原因になり、ガスケットの磨耗が早くなります。充填した後、ネジとガスケットを清掃し、キャップを手で締めてください。
- 溶剤やテンシドは、プラスチックに細かいひび割れを形成する恐れがあります（爆発の危険あり！）。タンクおよびキャップは、乾いた布で拭くか、こすって汚れを落としてください。タンクに文字を書いたり、何かを貼ったりしないでください。
- タンクやタンクキャップが損傷していないか定期的に点検し、疑わしい場合には交換してください。

3.3 免責条項

次の場合には、Renfert GmbH は損害賠償請求および保証請求をお断りさせていただきます:

- 取扱説明書に記載されている以外の目的で装置を使用した場合。
- 本製品を何らかの方法や方式で改造した場合。ただし、取扱説明書に記述されている改造点は除きます。
- 本製品を未認可のショップで修理したり、Renfert社製の純正な交換部品で使しなかった場合。

- 本製品に安全面での欠陥や損傷が確認されているにも関わらず、続けて使用していた場合。
- 本製品に機械的ショックがかかったり、落としてしまった場合。

4. 使用開始

4.1 壁への取付け

壁への取付けに必要なブラケットは付属品として入手可能で、別々に注文する事ができます（「付属品」を参照してください）。

壁への取付けについては、ブラケットに関する説明書内に記述されています。

4.2 設置と取付け

1. 噴射チャンバー内に配置されているフットスイッチを取り外します。
2. フットスイッチ / プラスト装置を接続します。その際には、フットスイッチの赤と黄色の印が付いた圧空ホースを、対応する印の付いた圧空ホースのストッパーまで差し込んでください（図 1a）。
3. 空気供給ライン / プラスト装置を接続します。
 - 装置に取り付けられているエア接続ラインのローレット付きユニオンナットを取り外します（図 1b）。
 - ローレット付きユニオンナットを、付属の青いエア接続ホース上にずらし（図 1c）。
 - エア接続ホースをエア供給部に挿入し、ローレット付きユニオンナットで固定します（図 1d、1e）。
4. エア接続ホース / 空気供給ラインを接続します:
 - エア接続コネクターのローレット付きユニオンナットを取り外し、付属の青い空気供給ホース上にずらし（図 2a）。
 - エア接続ホースを接続コネクター上にずらし、ローレット付きユニオンナットで固定します（図 2b、2c）。
 - ラボ内の圧縮空気接続部に接続コネクターを取り付けます（図 3）。



ホースを曲げないでください（図 4）！

4.3 ノズルの取付け

1. フロアグリルを取り外します（図 5）。
2. 噴射ノズルをホルダーに差し込みます（図 6）。
3. 吸引ホースの固定具合を点検します（図 7）。

4.4 作動圧力の調整

1. 選択スイッチを循環噴射（図 8、ポジション 1）に合わせます。
2. 噴射圧力を 1-6 bar (14.5-87 psi) に調整します（図 9）。調整した圧力は、圧力計に常時表示されます。

4.5 噴射研磨剤の充填

1. フロアグリルを取り外します (図 5)。
2. 噴射研磨剤を約 5kg (+/- 2 kg まで許容) 充填します (図 10)。
3. フロアグリルを再び取り付けます (図 5)。

i 適切な粒度であり、清潔で乾燥した噴射研磨剤以外は使用しないでください (「付属品」を参照してください)。噴射研磨剤の粒子サイズは、125-250 µm (115-60 メッシュ) のものをお勧めします。



最大粒子サイズ:500 µm (32 メッシュ)。

4.6 発光体の取付け



装置は、まだ電源に接続しないでください!

1. 発光体を水平に取り付けます (図 11)。
2. ランプカバーからシートフォイルを取り外します (図 12)。
3. ランプカバーを 2 つのローレット付きナットで取り付けます (図 13)。

4.7 装置照明の使用開始

1. 電源ケーブル / プラスト装置 (図 14) と電源ケーブル / コンセント (図 15) を接続します。
2. 照明のスイッチを入れます (図 16)。

4.8 吸引装置の接続

吸引ホースを吸引ダクトに挿入します (図 17-a)。吸引ホースは、Vario Basic プラスト装置の納入品に含まれていません。

5. 操作方法

5.1 消費装置の選択

Vario basic プラスト装置には、精密プラストタンクは付属していません。精密プラストタンクは、2 つまで取り付けられるようになっています。さらに、圧縮空気で作動する装置を 1 つ接続する事ができます。

噴射チャンバー内の選択スイッチで、選択 (循環噴射、左のプラストタンク、右のプラストタンク、補助の圧縮空気装置) を行います (図 8):

- (1) 循環噴射機能
- (2) 左の精密プラストタンク (オプション)
- (3) 右の精密プラストタンク (オプション)
- (4) 補助の圧縮空気装置 (オプション)

フットスイッチを踏んでいる間は、噴射が行われず (図 18)。フットスイッチから足を放した後も、わずかな量の噴射研磨剤が流れ出ます。



噴射時には、付属の手袋を使用してください。

その場合、手挿入口の布を取り外す必要はありません。



点検ガラスを閉じた状態でのみ作業を行ってください。

5.2 噴射ノズルの位置決め

ノズル距離とノズル角度は、別々に調整できます (図 19)。

5.2.1 ノズル距離の調整:

ノズル距離は、ノズルを取り替えて、3 段階で調整することができます (図 19-a と 図 6)。

5.2.2 ノズル角度の調整:

1. ホルダーの上部および下部のローレット付きナットを取り外します (図 19-b)。
2. 噴射角度を調整します。
3. ネジを再び締めます (図 19-b)。

5.3 吸引出力の調整

吸引力が弱い場合には、装置の裏側 (図 17-b) にある穴を接着テープでふさぐと吸引出力を上げることができます。

6. 補助タンクとその他の圧縮空気装置の接続

6.1 精密プラストタンクの取付け

補助タンクの取付け方は、別の説明書に記載されています。この説明書はタンクに添付されています。

6.2 消費装置の接続

各種の消費装置は、装置の裏側にある接続部に接続されます (図 20):

- 1 循環噴射機能の接続部 (納品時には、すでに接続されている状態です)
- 2 左の精密プラストタンクの接続部 (接続前に、ブラインドプラグを取り外してください)
- 3 右の精密プラストタンクの接続部 (接続前に、ブラインドプラグを取り外してください)
- 4 補助の圧縮空気装置の接続部 (接続前に、ブラインドプラグを取り外してください)

6.3 精密プラストタンクの充填



充填時には、フットスイッチを絶対に踏まないでください。



プラストタンクを開いている状態では、圧力が表示されているにも関わらず、フットスイッチを踏んだ場合のみ加圧されます。

1. タンクキャップをねじって取り外します (図 21)。
2. 噴射研磨剤を最大充填量まで (ネジの下にあるタンクジャケットの膨らみまで) 充填してください (図 22)。
3. タンクキャップを閉めます (図 21)。



タンクを閉める前に、キャップおよびタンクのネジに付着している噴射研磨剤を必ず取り除いてください。タンクキャップを傾けないでください。



適切な粒度であり、清潔で乾燥した噴射研磨剤以外は使用しないでください (「付属品」を参照してください)。

6.4 その他の圧縮空気装置の接続

basic mobil 装置 (No. 2914-xxxx) や Power-Pillo 装置 (No. 5022-3000) など、その他の圧縮空気装置は、Vario basic プラスト装置の裏側に接続されます (図 24、6.2 章、図 20)。

接続されている装置の圧縮空気ホースは、側面の差し込み口から挿入できます (図 23)。

図 24: basic mobil 装置の接続例。

7. 清掃 / 保守



清掃作業と保守作業を行う前に、電源プラグを抜き、装置から圧縮空気供給ラインを外してください。

7.1 庫内の清掃

- 溶剤が入っていないクリーナーを使用してください (石鹼水など)。
- フロアグリルを取り外し (図 5)、噴射庫内を吸い出します。
- タンクとタンクキャップは、乾いた布で拭き取ってください!

7.2 水分離器の点検

- 凝縮した水をバルブから排出します。
- バルブを下から強く押します (図 25)。

7.3 噴射ノズルの交換

- 止めネジを外します (図 26) >>> 付属品セットの六角棒スパナ。
- ノズルを取り外します (図 27)。
- 混合チャンバーが磨耗していないか点検し、噴射研磨剤の残留物を取り除きます (図 28)。
- 新しいノズルを差し込みます (図 27)。
- 止めネジを再び締めます (図 26)。

7.4 噴射研磨剤の交換

- デスクの角まで装置を引っ張ります (図 29)。



横転する危険があります!
もう 1 人の人が装置を支えてください。

- 受け容器の位置を調整します (図 30)。
- 砂の排出口を開けます (図 31)。
- フィルターの清掃 / 取付けを行います (図 32 / 図 7)。
- 砂の排出口を閉じます (図 31)。
- 新しい砂を充填します (図 10)。

7.5 点検ガラスの交換

- 取付けボルトを外します (図 33)。
- 古いガラスを取り外し、新しいガラスを取り付けます (図 34)。
- 取付けボルトを慎重に締めます (図 33)。

7.6 噴射ホースの交換

噴射ホースに損傷箇所や磨耗がないか、定期的に点検してください。損傷した噴射ホースは適宜交換してください。



噴射ホースを交換する前に、噴射装置を圧縮空気ラインから外してください (図 3)。

- 砂を排出します (7.4 を参照してください)。
- ホースクリップを外し、ホースを抜き取ります (図 35、36、37)。
- 新しいホースを取り付けます (図 35、36、37)。



Renfert 社製の交換用ホース以外は使用しないでください!

7.7 発光体の交換



発光体を交換する前に、電源プラグを抜いてください (図 15)!



発光体を交換する際には、強く押し曲げないでください (破損する恐れがあります)。必要に応じて、手袋や布を着用し、破片から身を守ってください!

- ローレット付きナットを外し (Bild 13)、カバーを取り外します。
- 発光体をソケットから水平に取り外します (図 11)。
- 可能性があれば、ソケットを吸い出します。
- 発光体をソケットに水平に取り付けます (図 11)。
- カバーを取り付け、2 つのローレット付きナットで固定します (図 13)。



Renfert 社製の交換用発光体セット以外は使用しないでください (付属の交換部品リストを参照してください)。

8. 交換部品

交換部品の番号は、付属の交換部品リストをご覧ください。

9. 保証

Renfert 社は、装置を正しく使用している場合に、Vario basic 装置すべての部品に対して **3 年間の保証**をいたします。

保証請求を行うためには、専門店が発行した販売明細書の原本が必要です。

自然な磨耗にさらされる部品（噴射ノズル、噴射ホース、発光体、噴射ホースの接続部、点検ガラス、フィルター資材など）は、保証の適用から除外されます。

装置を正しく使用していない場合、操作規定、清掃規定、保守規定、接続規定を守っていない場合、およびご自分で修理を行った場合、許可されていない人物が修理を行った場合、他メーカーの交換部品を使用した場合、異常な影響や使用規定で許容されない影響を受けた場合は、この保証は失効するものとします。

保証の執行によって、保証期間が延長されることはありません。

10. 技術仕様

電源電圧:	230 V、50/60 Hz 120 V、50/60 Hz
消費電力:	12.3 W / 9 W (230/120 V)
ケーブル長:	2 m (78.74 インチ)
外部の接続圧力:	6-10 bar (87-145 psi)
作動圧力:	1-10 bar (14.5-87 psi)
空気消費量:	6 bar (87 psi) で 毎分 200 リットル
Ø ホース接続部:	
内径:	4 mm (0.16 インチ)
外径:	6 mm (0.24 インチ)
寸法 (幅 × 高さ × 奥行):	380 × 540 × 450 mm (14.92 × 21.28 × 17.73 インチ) (2 つの精密プラストタンクを接続した場合)
重量 (空の場合):	約 14 kg
Ø 外部の吸引装置用の吸引ダクト:	
内径:	35 mm (1.38 インチ)
外径:	40 mm (1.58 インチ)
噴射チャンバーの容量:	23 リットル
DIN 45635-01-KL3 に基づく騒音レベル:	< 70 dB(A)

11. 発送時の注意事項

- Renfert 社製の 発送用ダンボールをご請求ください (電話: +49 (0)7731 8208-61)。
- プラストタンクはすべて空にしてください。

! Renfert 社製の発送用ダンボールがない場合は、補助タンクを必ず取り付けてください (これ以外の場合は、運搬中に損傷した場合に保証責任を負うことはいたしません)。

Renfert 社のホームページ www.renfert.com の [アドバイス / 修理サービス] (Beratung / Reparatur-

service) から、返送フォームをダウンロードしていただけます。

12. 供給範囲

- 1 Vario basic プラスト装置
- 1 フットスイッチ
- 1 接続セット
- 1 ランプカバー付き発光体
- 1 付属品セット
- 1 噴射用手袋
- 1 添付資料付き取扱説明書
- 1 交換部品リスト

13. 供給タイプ

No. 2960-0000 プラストタンクなしの Vario basic 基本装置 (230 V、50-60 Hz)

No. 2960-1000 プラストタンクなしの Vario basic 基本装置 (120 V、50-60 Hz)

14. 付属品

精密プラストタンク

No. 2954-0050	25-70 µm	右側 / 青色
No. 2954-0051	25-70 µm	左側 / 赤色
No. 2954-0250	70-250 µm	右側 / 青色
No. 2954-0251	70-250 µm	左側 / 赤色

ウォールホルダー

No. 2960-0001 90° の吸引角度を含むウォールホルダー

吸引角度

No. 2960-0002 90° の吸引角度

保護グリル

No. 2960-0003 点検ガラス用保護グリル

噴射ノズル

No. 90003-5520 炭化ホウ素ノズル

噴射研磨剤

Cobra 酸化アルミニウム

Nr. 1594-1105 25 µm (500 メッシュ)、ホワイト

5 kg のキャニスター

Nr. 1594-1205 50 µm (270 メッシュ)、ホワイト

5 kg のキャニスター

Nr. 1594-2220 50 µm (270 メッシュ)、ホワイト

20 kg のバケツ

Nr. 1584-1005 90 µm (170 メッシュ)、ホワイト

5 kg のキャニスター

Nr. 1583-1005 110 µm (150 メッシュ)、ホワイト

5 kg のキャニスター

Nr. 1583-1020 110 µm (150 メッシュ)、ホワイト

20 kg のバケツ

Nr. 1587-1005 125 µm (115 メッシュ)、ピンク

5 kg のキャニスター

Nr. 1587-1020 125 µm (115 メッシュ)、ピンク

20 kg のバケツ

Nr. 1585-1005 250 µm (60 メッシュ)、ホワイト

5 kg のキャニスター

Nr. 1585-1020 250 µm (60 メッシュ)、ホワイト

20 kg のバケツ

Rollblast パール

Nr. 1594-1305 50 µm (400-200 メッシュ)

5 kg のキャニスター

Nr. 1594-2312 50 µm (400-200 メッシュ)

12.5 kg のキャニスター

Nr. 1589-1005 100 µm (170-100 メッシュ)

5 kg のキャニスター

Satinat

Nr. 1595-1005 50 µm (400-200 + 270メッシュ)

5 kg のキャニスター

15. トラブルシューティング

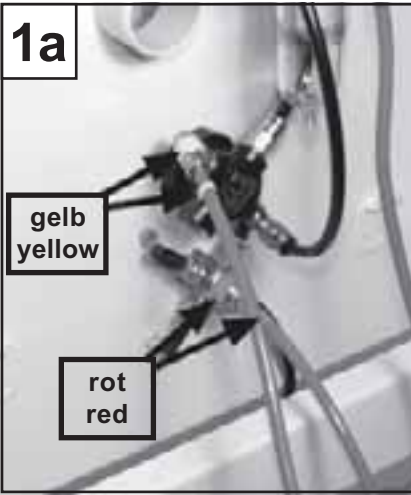
故障内容	原因	処置方法
空気と砂が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ノズルが詰まっている。 ハンドピースの噴射ノズルまたは噴射ホースのいずれかまたは両方が詰まっている。 フットスイッチの接続ホースが折れ曲がっている。 スイッチが中途半端な位置になっている。 あまりにもわずかな圧力に調整されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 噴射ノズルユニットを開け、ノズルを清掃します (図 26、27、28)。 ノズルをハンドピースから取り外し、エアを吹き付けます。その際にフットスイッチを踏んで、ノズルなしの噴射ホースにまんべんなく吹き付けます。 接続ホースを点検し、調整します。 ロックしたと感じられるまで、スイッチを回します。 圧力コントローラーの調整を高くします (4-5 bar を推奨)。
空気が出ず、砂が出ない / 砂が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 噴射研磨剤が汚れているか、湿っている。 装置内の噴射研磨剤が少なすぎる。 吸引ホースが塞がっている。 補助タンクに問題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 噴射研磨剤を交換します。 噴射研磨剤を補充します。 吸引ホースが曲がっていないか、つぶれていないか、詰まっているか点検してください。吸引ホースは、装置の底面にしっかり取り付けられていなければなりません。 「vario basic プラスト装置の精密プラストタンクの取付け用説明書 (No. 21-9774)」を参照してください。
噴射効率が低下している。	<ul style="list-style-type: none"> 機能選択スイッチが、明確なポジションに位置付けられていない。 噴射ノズルがシーリングされている。 噴射研磨剤が使い切られている 噴射研磨剤の供給ホースが詰まっている / 故障している / 折れ曲がっている。 リザーブタンクに砂がほとんど残っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 明確なロックポジションに調整します。 ノズルを交換します。 噴射研磨剤を交換します。 砂を排出し、供給ホースの点検 / 交換を行います。 噴射研磨剤を補充します。
噴射砂の消費量が多すぎる。	<ul style="list-style-type: none"> 吸引パワーが高すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> 吸引装置の吸引パワーを下げます。
作動チャンバー内にホコリがたくさんある。	<ul style="list-style-type: none"> 吸引パワーが低すぎる。 吸引装置の集塵袋がいっぱいになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 装置裏側 (図 17-b) の穴をシーリングして (接着テープなどで)、吸引装置の吸引パワーを高くします。 吸引装置を洗浄します / 集塵袋を交換します。
砂の吐出に振動がある。	<ul style="list-style-type: none"> ノズルの接続ピースが垂直になっていない。 噴射研磨剤が使い切られているか、もしくは著しく汚れている 吸引ホースが折れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ノズルを垂直にします。 噴射研磨剤を新しいものと交換します。 供給ホースを点検します。
装置が連続的に噴射し、フットスイッチを踏むと停止する。	<ul style="list-style-type: none"> フットスイッチの接続が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> フットスイッチの接続を点検し、調整します。
フットスイッチのスイッチが入らない。	<ul style="list-style-type: none"> 圧縮空気接続部に圧力がきていない。 圧空ホースが折れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 圧縮空気ラインまたはコンプレッサーを点検します。 ホースを取り付け直します。
圧縮空気がフットスイッチから漏れ出ている。	<ul style="list-style-type: none"> 圧空ホースの接続が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい接続部につなぎます。
ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源ケーブルが接続されていない。 発光体が故障している。 電子系統が故障している。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源ケーブルを接続します。 発光体を交換します (5.6 項を参照してください)。 保守部門で電子系統を交換してもらうか、交換部品リストを参照してください。

変更する権利を有します

1a

gelb
yellow

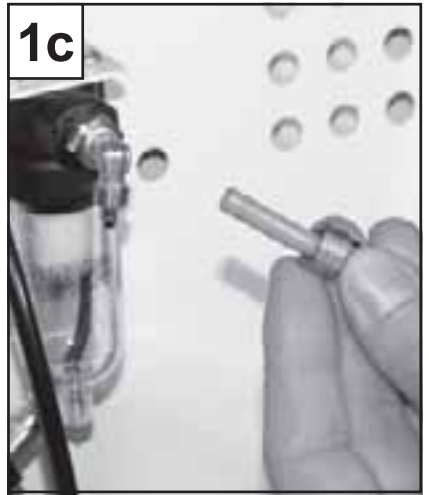
rot
red



1b



1c



1d



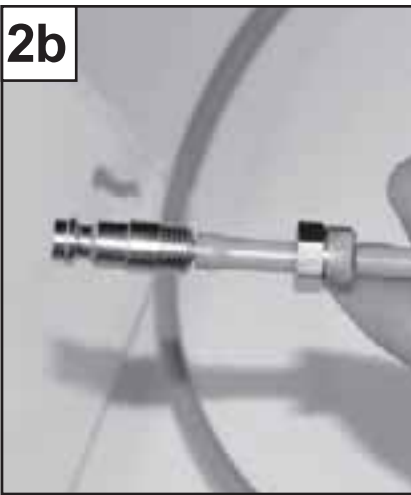
1e



2a



2b



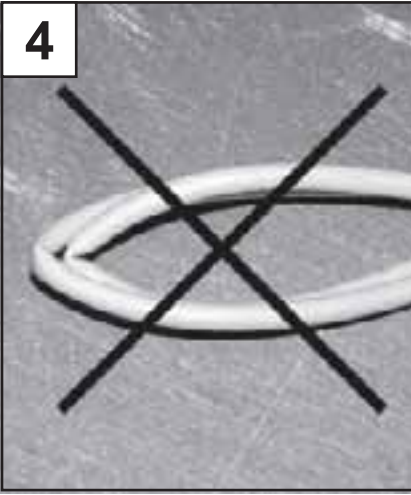
2c



3



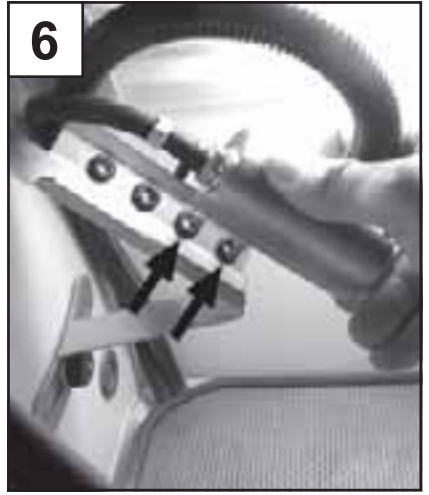
4

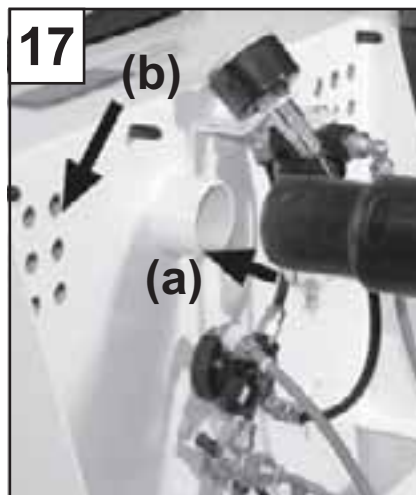
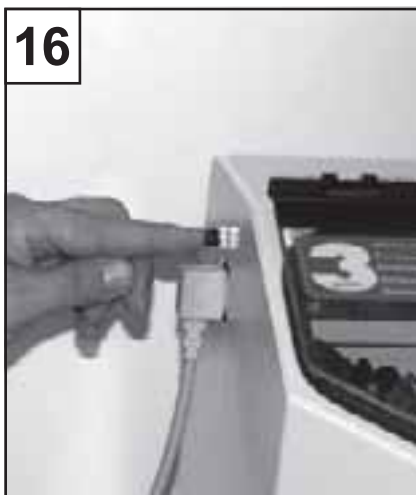
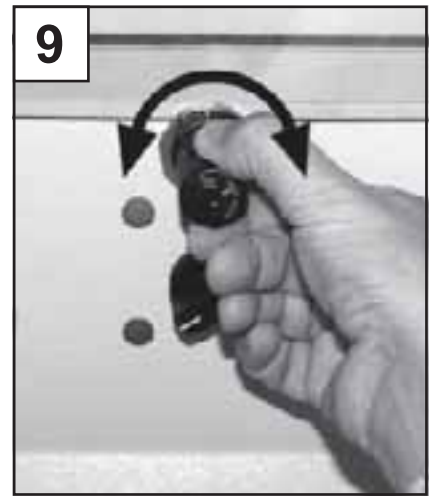
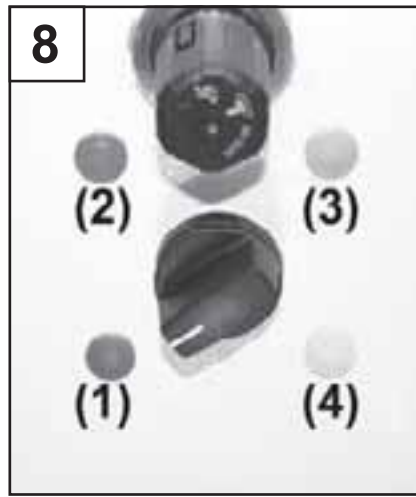


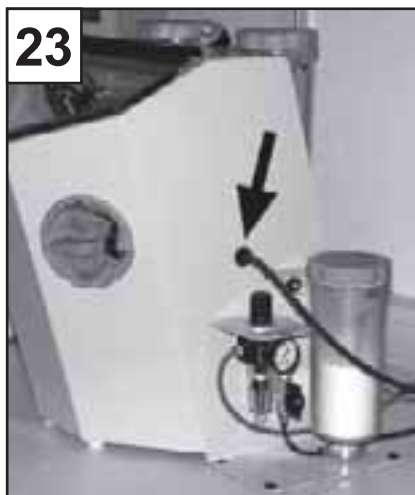
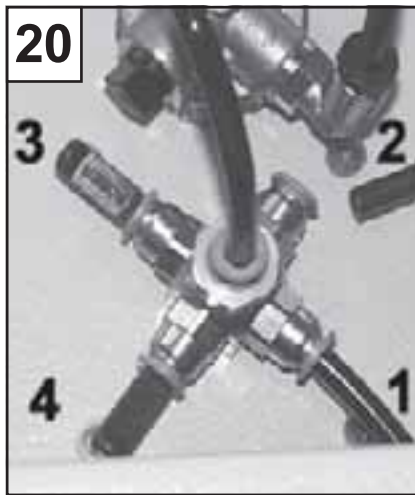
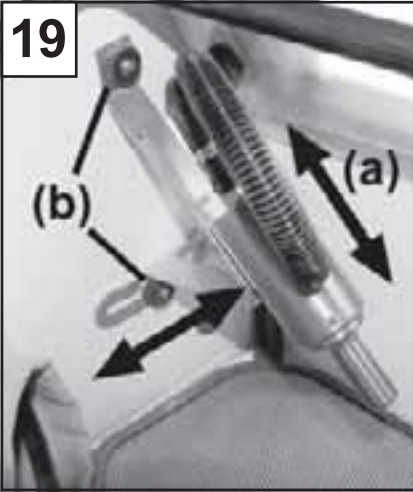
5

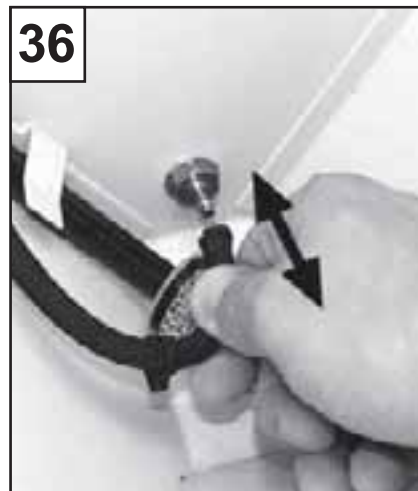


6









Vario basic

No. 2960

**Anleitung für die Montage eines
Feinstrahltanks am Vario basic**

Tank Installation Instruction for Vario basic

**Instructions de montage d'un silo de micro sablage sur
un Vario basic**

**Istruzioni per il montaggio di un serbatoio di precisione
sul Vario basic**

**Instrucciones para el montaje de un depósito de
chorreado de precisión en el Vario basic**

**Handleiding voor de montage van
een fijnstraaltank op de Vario basic**

**Instrukcja montażu zbiornika ścierniwa
drobnoziarnistego do Vario basic**

**Инструкция по монтажу резервуара для тонко-
струйной обработки на аппарате Vario basic**

**Vario basic 全功能支架冠桥喷砂机
砂罐安装说明书**

**Vario basicのサンドブラスター
取付け説明書**

Vario basicのサンドブラスター 取付け説明書

No. 2960

日本語

1. 接続 / 操作開始

- 1.) 電源プラグを抜きます/圧力空気の接続口と吸引装置を外します。
- 2.) ウォールブラケットを使用する場合は装置をブラケットに掛け、テーブルの上に置きます。
- 3.) 底の網を取外します >> 写真 1
- 4.) 装置をテーブルの角に寄せます >> 写真 2 (事故が起きる恐れがあります - 装置は二人で押さえてください)
- 5.) 受取り皿を正しい位置に置きます >> 写真 3
- 6.) サンドブラスを開けます+砂を噴射させます+サンドブラスを閉めます >> 写真 4
- 7.) 刻み付きネジを追加タンクから取り出します
- 8.) グロメットカバーを取外します >> 写真 5
- 9.) 4方向開閉器からプラグを取外します >> 写真 6
 1. 止め輪を押します
 2. プラグを引っ張って抜きます。
- 10.) タンクと4方向開閉器を付属のホースでつなぎます >> 写真 7
- 11.) タンクを取付けます >> 写真 8 + タンクのネジを締めます >> 写真 9
- 12.) 装置を側面を下にして置きます (ライトスイッチの付いていない方にして下さい!) >> 写真 10
- 13.) 装置の背面にあるブッシングニップルを取外します >> 写真 11
- 14.) 装置の開口部にホースを通します >> 写真 12
- 15.) ホースに付いているニップルをはめます >> 写真 13
- 16.) 装置を立てます+ホースの長さを合わせてハンドピースをはめます >> 写真 14
- 17.) 底の網を元通りに付け直します >> 写真 1



2. 危険に関する指摘事項

- メンテナンス作業前に本装置を圧縮空気ネットから取り外して下さい。
- タンクでの作業時(充填、清掃、メンテナンス) には目を保護するために保護メガネをかけてください。
- パッキン上の放射剤の残滓は密性に支障をきたし、パッキンを耐用期間前に消耗させます。充填後にはネジとパッキンを清掃し、カバーを固く締めつけてください。
- 溶剤と界面活性剤はプラスチック内でマイクロクラックを生じさせる場合があります(爆発の危険!)。タンクとカバーは乾いた布で擦る/ 拭き取ることで清掃してください。タンクに文字を記したり、ラベル等を貼らないでください。

- タンクあるいはカバーに損傷がないか、定期的に検査してください。タンクあるいはカバーは必要に応じて交換してください。
- 始動前にタンクカバーが固定しているか検査してください。固く締まっていないタンクカバーは爆発的に飛び跳ねる場合があります。飛散部品及び爆発的に発生するブラスターサンドにより負傷する恐れがあります。
- 健康に危険を及ぼす恐れがありますので、適切な吸引あるいは適切な人身保護装置なしでブラスター装置は決して使用しないでください。吸引方式は放射プロセスで発生する塵埃に適切なものにしてください。これに関してはEN 60335-2-69 補足AAを参照するか、あるいは管轄当局にお問い合わせください。
- 不適切な取扱いにより目と肌に負傷する恐れがあります。
- 目あるいは覆われていない肌に向かっての噴射は絶対におこなわないでください!
- ガラスカバーが開いている状態では放射は絶対におこなわないでください!



注意: 保護がなされていない場合には、飛散する粒子により目が傷つく恐れがあります。装置を運転する前に適切な眼鏡で目を保護してください!

- 発光体を交換するときは、押ししたり曲げたりしないでください(割れる恐れがあります)。必要に応じて手袋や布を使用して、手を破片から保護してください。

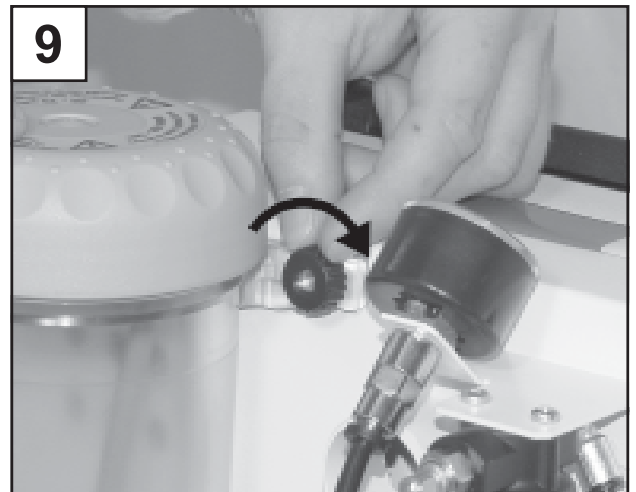
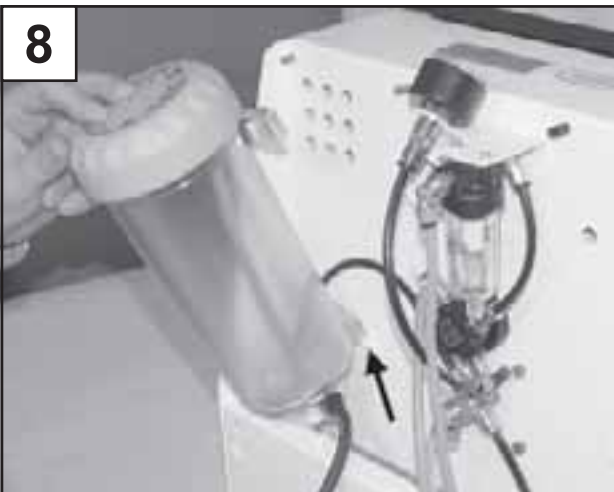
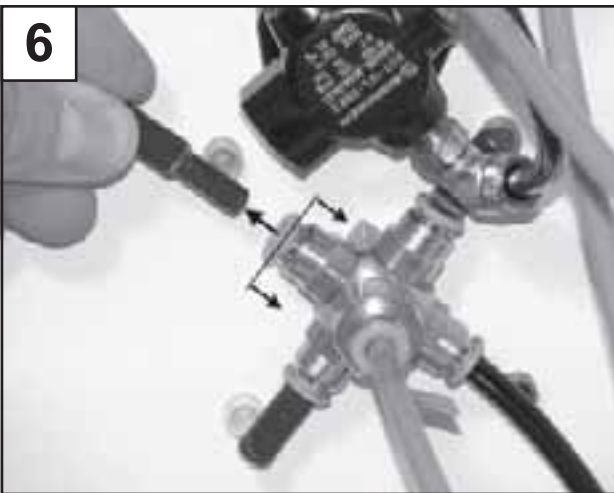
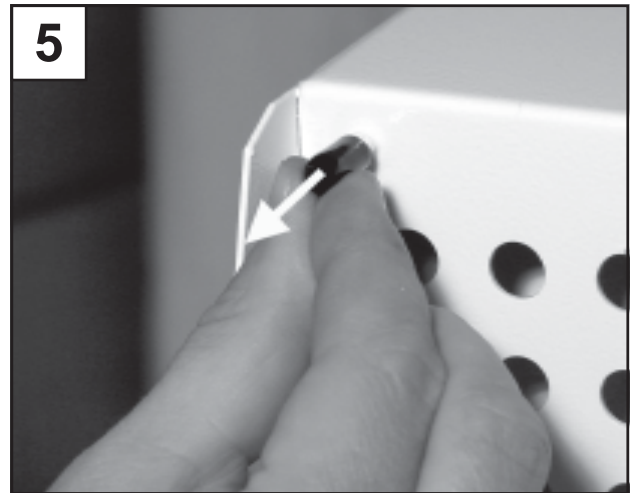
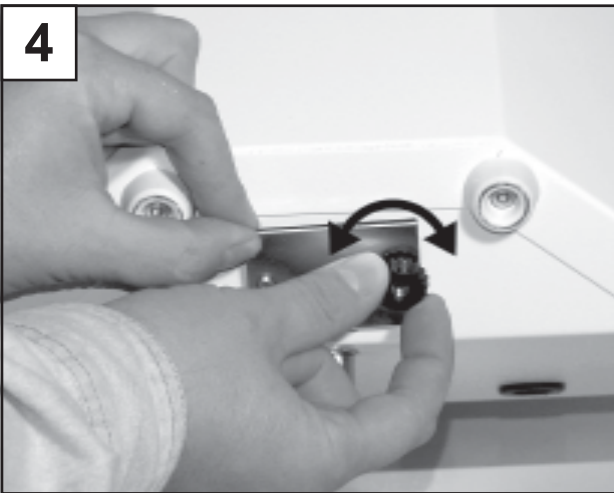
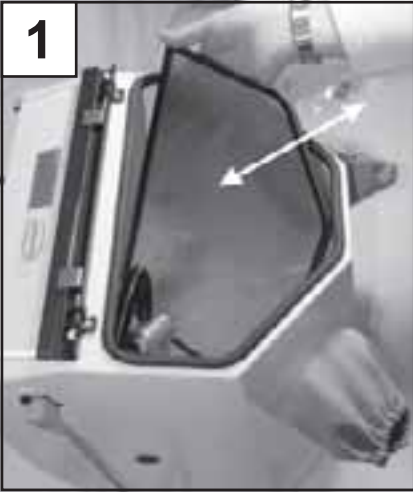
2.1 免責

レンフェルト有限会社は、以下の場合、すべての損害賠償や保証を拒否します:

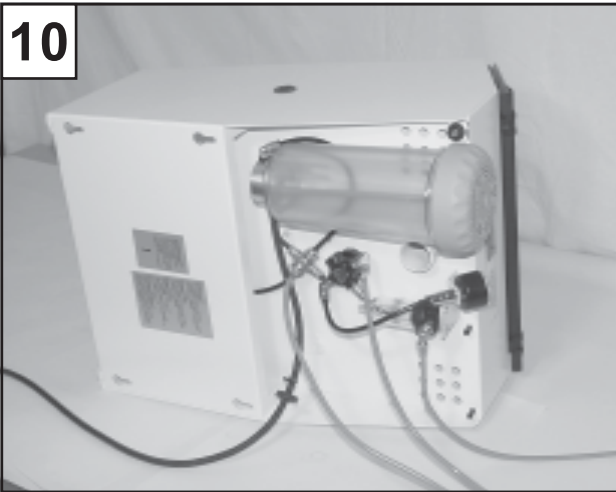
- 本製品を取扱説明書で指定されている目的以外の目的に使用した場合。
- 本製品に何らかの変更が加えられた場合(取扱説明書にある変更は除く)。
- 正規の修理会社以外で修理された場合、またはレンフェルト純正の交換部品以外が使用された場合。
- 安全が保障されないことが明らかであるにもかかわらず、本製品を使用し続けた場合。

3. エラーリスト

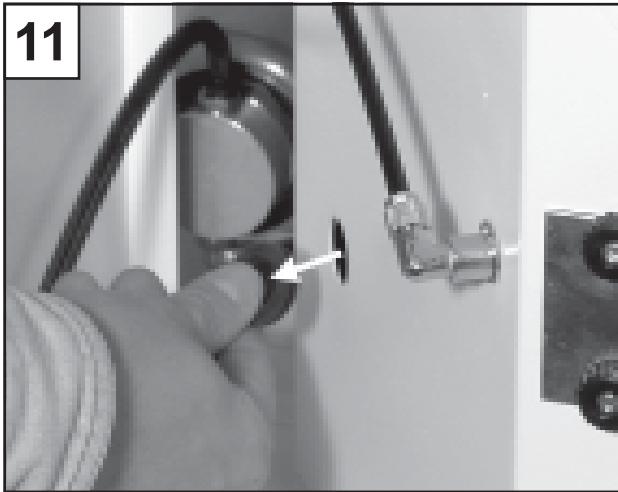
エラー	原因	処置
エアーも砂も出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● ハンドピースのノズルがつかまっています。 ● フットスイッチの接続ホースが曲がっています。 ● スイッチが中間位置で止まっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ハンドピースのノズルをはずして、エアーを吹き付けます。 ● 噴射ホースからノズルをはずしてフットスイッチを押します。 ● 接続ホースを調べて間違いを正します。 ● カチッと音がするまでスイッチを回します。
エアーは出ても砂が出ない / 砂が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ● タンクの調整ノズル(真中のノズル)がつかまっています。 ● ミックスチャンバのフィルターがつかまっています。 ● 噴射剤が湿っているか、不純物が混ざっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● タンクカバーをはずします。 ● 絶縁テープかセロテープでスタンドパイプ(青いホース)の上を密閉します。 ● カバーを付け直します。 ● ハンドピースのノズルを指で閉め、フットスイッチを何回か押します。 ● タンクカバーをもう一度取り外し、スタンドパイプのテープをはがします。その後、タンクカバーをもう一度取り付けて、通常通り噴射します。 <p>新しいフィルター・セットを取り付けます: 商品番号 90002-8889 25-70 μm 商品番号 90002-8888 70-250 μm (各フィルター使用に関する添付メモを参照):</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ミックスチャンバのエアーをはずします。 ● 差し込みねじを抜きます。 ● 古いフィルター・セットをはずします。 ● ミックスチャンバにあいている穴を針金(1mm)で突きます。 ● 次の順序で新しいフィルター・セットを取り付けます(部品の数はフィルター・セットによります。つるつるの方を(カラーマーキングされています)ミックスチャンバに向けます) <ol style="list-style-type: none"> 1. 網 2. 薄いフィルター 3. 厚いフィルター 4. 網 5. スペーサ・リング <p>ねじを反対の順序で取り付けます。 ねじ山に噴射残留物が付いていないようにしてください。 注意: サンドブラスターを使用するときは必ずフィルターを付けてください。 古いフィルター・セットは再び使わないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 噴射剤を交換します。
装置が噴射し続ける	<ul style="list-style-type: none"> ● フットスイッチの接続が間違っています。 ● フットスイッチのバルブが故障しています 	<ul style="list-style-type: none"> ● フットスイッチの接続を調べ、正しく接続しなおします。 ● フットスイッチを交換します
フットスイッチからエアーがもれる	<ul style="list-style-type: none"> ● エアー・ホースの接続が間違っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ポートを変えます。
フットスイッチのスイッチが入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● エアー・ポートに圧力がかかりません。 ● エアー・ホースが折れ曲がっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● エアー・ラインとコンプレッサを調べます。 ● ホースの敷設をやり直します。



10



11



12



13



14

